

## 「生活」学習指導案

1. 日時 令和6年10月25日（金） 第6時限（13:55～14:35）
2. 場所 中学部 教室
3. 学部・学年・組 中学部

4. 単元（題材）名 「風とゴムの力のはたらきについて調べよう」（生活）

### 5. 単元（題材）目標

- ・風やゴムの力は物を動かしたりできることや、風やゴムの力の大きさを変えると物が動く様子も変わることを理解している。（知識・技能）
- ・実験を行い、得られた結果をもとに考え、共通点や差異点を表現している。（思考力・判断力・表現力）
- ・自らの生活と関わりのある風とゴムの力のはたらきについて関心を持ち、生活に活かそうとしている。（学びに向かう力、人間性等）

### 6. 生徒観

本グループの生徒の特別支援学校学習指導要領における学習段階は、小学部3段階である。一斉指導で教員の指示を理解できる生徒が多いが、場面によっては個別の言葉かけにより理解できる生徒もいるため、配慮が必要である。授業においては、積極的に発言する生徒、指名すると質問に答えることができる生徒、選択肢を提示して答えることができる生徒と様々であるが、意欲的に学習活動に取り組むことができている。学習意欲を高め、理解が深まるよう、視覚的に分かりやすいスライドを用意したり実物を提示したりしている。また、実際に自ら体験して学ぶことができるような授業に努めている。

本単元では、風とゴムの力と物の動く様子に着目し、風とゴムの力のはたらきについて実験を通して調べる活動を行う。風を受けたときやゴムを伸ばしたときの手ごたえなどを体感することによって、興味・関心が持てるように活動を展開していきたい。また、風の強さやゴムの伸びなどと物の動きとの関係を表やグラフに整理することを通して、風やゴムの性質や共通点、差異点に気づくことで理解を深め、生活に活かそうとする態度を養っていきたい。

### 7. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
1. 風の力は、物を動かすことや、風の力の大きさを変えると物が動く様子も変わることを理解している。 2. ゴムの力は、物を動かすことができることや、ゴムの力の大きさを変えると物が動く様子も変わることを理解している。 3. 風とゴムの力のはたらきについて、器具や機器を使って調べ、得られた結果を記録している。	1. 風とゴムの力のはたらきについて、共通点や差異点を見つけ、表現している。 2. 実験を行い、得られた結果をもとに考え、表現している。	1. 風とゴムの力のはたらきに関心を持ち、積極的に学習に取り組もうとしている。 2. 教員の質問に積極的に答えたり、友だちの発表を聞き、記録しようとしたりしている。 3. 風とゴムの力のはたらきについて学んだことを学習や生活に活かそうとしている。

8. 単元の指導と評価の計画（全8時間、本時は第6時）

次	時	学習内容・学習内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1	1	<u>風の力のはたらき</u> ・風の大きさと物の動く様子を 知ろう。	・手本を提示しながら動く車を作り、その際、 帆の役割を説明する。 ・うちわ等、あおぐ道具を利用し、どのよう に車が進むのかを体験できるようにする。	B. C
	2 3	<u>風の力のはたらき</u> ・風の強さと車が動く距離を調 べてまとめよう。	・チームに分かれて、弱い風と強い風をそれ ぞれ2回ずつ当て、車が動いた距離を記録 するよう伝える。役割を明確にし、スムー ズに実験ができるようにする。 ・送風機の位置と向きを変えないよう留意す る。 ・実験結果が視覚的に分かりやすいよう、グ ラフを用いる。	A. B. C
2	4	<u>ゴムの力のはたらき</u> ・ゴムの元に戻ろうとする力の 大きさと物の動く様子を知 ろう。	・手本を提示しながら動く車を作り、仕組み を分かりやすく説明する。 ・好きなように車を動かす時間を設け、興味・ 関心を持てるようにする。	B. C
	5	<u>ゴムの力のはたらき</u> ・ゴムを伸ばす長さで車が動く 距離を調べよう。	・3人1チームに分け、車が動いた距離を記 録するよう伝える（5cm・10cm・15cm で調べる）。 ・車を動かす人、記録する人の役割を明確に し、スムーズに実験ができるようにする。	A. B. C
	6 (本 時)	<u>ゴムの力のはたらき</u> ・実験結果をまとめよう。	・実験結果が視覚的に分かりやすいよう、グ ラフを用いる。	A. B. C
3	7 8	<u>学習のまとめ</u> ・風やゴムの力のはたらきにつ いての振り返り。 ・風やゴムの力を利用した車 を使ったゲームをしよう。	・車を使って実験していた実際の映像をモニ ターに映し、復習しやすいようにする。 ・学習したことを活用して取り組めるような ゲームを取り入れる。	A. B. C

9. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・実験の結果を表やグラフに表すことができる。
- ・ゴムの性質を知り、ゴムのはたらく力の共通点や差異点を見いだすことができる。
- ・身近にあるゴムに関心を持ち、積極的に学習に取り組み、発表することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・実験の結果を表やグラフに記入している。
- ・ゴムの性質やゴムのはたらく力の共通点や差異点を理解している。
- ・ゴムのはたらく力に関心を持ち、積極的に学習に取り組み、発表しようとしている。

(3) 本時の ICT 活用のポイント (活用のねらい、工夫する点)

- ・本日の学習予定をモニターに提示し、見通しが持てるようにする。
- ・動画で撮影した実験の様子をモニターに映し、振り返りがしやすいようにする。
- ・スライドを利用してグラフを作成し、視覚的に分かりやすく提示する。

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準 (評価方法)
5分 導入	<ul style="list-style-type: none"><li>・挨拶をする。</li><li>・出席確認をする。</li><li>・本時の学習内容を確認する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・日直を指名し、挨拶をするよう言葉かけを行う。</li><li>・本日の活動の流れをモニターに提示し、生徒が見通しを持って活動に参加できるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・モニターに注目し、活動内容を確認することができる。</li></ul>
30分 展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・前時で行った実験の様子を動画で見ながら、記録を記入していく。</li><li>・結果をもとにグラフを作成する。</li><li>・完成したグラフや表からどのようなことが分かるか考え、確認する。</li><li>・まとめを行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各チームの結果を順番にホワイトボードに書いていく。</li><li>・記入する生徒を順番に指名していく。その際、配付している学習プリントに各自記入するよう言葉かけを行う。T2は、机間巡視を行う。</li><li>・ホワイトボードに書かれた記録を見ながら、モニターに提示されたグラフに記入していく。</li><li>・記入する生徒を順番に指名していく。</li><li>・視覚的に違いが分かりやすいよう、記入するペンの色を変える。</li><li>・ゴムを提示しながら、伸び縮みする性質を確認し、ゴムを伸ばしたとき、元に戻ろうとする力で車が動いたことを伝える。</li><li>・ゴムを長く伸ばしたときと、短く伸ばしたときの差異点を確認する。</li><li>・ゴムを長く伸ばすほど、力は強いことを確認し、各自プリントにまとめを記入する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ホワイトボードに注目し、実験結果の発表や記録を記入することができる。 (A3.C1.C2)</li><li>・モニターに注目し、記録した数字をグラフに表すことができる。 (A3.C1.C2)</li><li>・ゴムの性質やゴムの力のはたらくの違いを理解することができる。 (A2.B1.B2C1.C2.C3)</li><li>・ゴムの力のはたらくについて理解している。 (A2.C1.C2.C3)</li></ul>

5分 ま と め	<ul style="list-style-type: none"><li>・本時の振り返りをする。</li><li>・挨拶をする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・まとめのポイントを穴うめの問題にしてモニターに提示し、確認する。</li><li>・日直を指名し、挨拶をするよう言葉かけを行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本時の学習内容を振り返ろうとしている。 (C1.C2.)</li></ul>
-------------------	--	---	---